

2022年2月8日

## 日本大使館及びアル・フセイン技術大学共催 石黒大阪大学教授によるオンライン講演会の開催

2月8日、日本大使館及びフセイン皇太子基金のイニシアティブの一つであるアル・フセイン技術大学は、石黒浩大阪大学教授・国際電気通信基礎技術研究所所長による講演を共催しました。

「ロボット研究の最前線：日本発、将来のインテリジェンス・システムのビジョン」と題した本講演では、日本におけるロボット工学の先端的な研究の主要な点や、ロボット工学がどのように未来の知的システムに貢献するかが説明されました。また、講演においては、日本での大阪・関西万博2025での展示が予定されている技術やアイデアについても言及されました。

嶋崎駐ヨルダン大使は、科学技術・学術・文化等多様な分野における日ヨルダン協力強化に対する意欲を強調し、ロボット工学とAIはこの時代に未来を描き、構築するにあたって重要な分野であり、ヨルダン人の若者がロボット工学の最先端を走る専門家の講演を通じてこの分野に興味を持つことができれば喜ばしいと述べました。

シャリーフ・アル・フセイン技術大学工学テクノロジー学部長は、石黒教授の登壇を歓迎し、この貴重な機会に対する感謝を述べました。また、ロボット工学とAIは全ての産業を変革し、テクノロジーの有用性を高めており、学生の能力構築のため、アル・フセイン技術大学は引き続きこのようなテクノロジーを活用していきたいと述べました。

